

## ズグロカモメ

学名	Larus saundersi (Swinhoe,1871)	
目名	チドリ目	
目名学名	CHARADRIIFORMES	
科名	カモメ科	
科名学名	Laridae	
カテゴリー	大分県： I B (EN)	環境省： II (VU)



## [選定理由]

本種の総個体数約 5,000羽のうち、九州北部の海岸部に約 1,000羽が越冬する。県内には数10羽が越冬する。泥質干潟に依存している鳥であるが、採餌場所である泥質干潟が近年急激に減少している。

県内分布	杵築湾以北の干潟に飛来する冬鳥。
分布域	九州北部に冬鳥。
世界的分布	中国北部、モンゴルなどで繁殖、九州北部、中国南部、台湾で越冬。
生息環境	海岸、海上に生息し、泥質干潟で甲殻類、ゴカイ類などの水生小動物を採餌する。
現状	中津、杵築の海岸に数羽～数十羽が越冬する。北九州の曾根干潟には、毎年2百数十羽が越冬し、その一部が県北の干潟に飛来するものと思われる。県北の泥質干潟は少なくなっている。
備考	国際自然保護連合：II, 希少鳥獣。